

2026 年 7 月

2026 年度正課外活動オンライン講習会「熱中症予防」および対面講習会「暑さ対策」 開催報告

スポーツ支援室 鈴木久雄

スポーツ支援室は学生支援課と協働で「正課外活動オンライン講習会－熱中症予防」を開催した。今年度のオンライン講習期間は 4 月 17 日（金）から 6 月 19 日（金）までであり、昨年度の講習期間より 3 週間ほど早めた。地球温暖化により年々気温上昇が早まっていることから、早期から熱中症予防に備えてほしいと考え、講習会を早めた。今年度の受講者数（感想レポート提出者）は 3,612 名であり、昨年度（3,556 名）とほぼ同数と考えられる。

オンライン講習会資料は昨年度の講習会感想レポートに「毎年資料が同じ」と書かれたことから、最新データを加えコンパクト化した（津島キャンパス用 44 ページ（2025 年）から 26 ページ、鹿田キャンパス用 40 ページから 22 ページ）。本講習会は確認テストを必ず行い、満点者のみが感想レポートを提出することができる仕組みであり、感想レポート提出者が受講者とカウントしている。講習内容は熱中症発症の責任、予防法、発生時の対処法等であり、感想レポートは目標をほぼ達成できたと思われる内容であった。ただし、感想レポートにはオンライン講習会を受講することで熱中症に対するソフト面での対応はできているが、熱中症予防のためにハード面であるエアコン設置を強く要望するものがあつた。岡山大学「熱中症予防に関する基本方針」では、正課外活動は暑さ指数（WBGT）31 度を越えた場合、活動を中止することになっている。毎年のように温暖化が進んだ現状では、体育会系クラブ・サークルはもちろん、文化会系クラブ・サークルの活動停止が多くなる可能性が高く、正課外活動の場所（部室）へのエアコン設置が急務と言わざるを得ない。

対面による講習会は 5 月 20 日（水）にスポーツ講座として開催され、受講学生（正課外活動クラブ所属学生以外も含まれる）は 72 名であつた。対面での講習会はオンライン講習会の内容を加味しつつ「暑さ対策」について具体例を出して解説した。水分・塩分補給方法や注意点、体温を下げる最新の方法、応急処置方法などを具体的に講義した。対面での講習会はコロナ禍の 2020 年度以来であるが、質疑応答の時間では多数の質問があり盛り上がった（講習会満足度の 5 段階評価で平均 4.6）。ただし、文化系クラブ所属者から満足度が低い評価が数件みられ、オンライン講習会も含めて文化系クラブ・サークルへの対応を考える必要がある。

来年度はオンライン講習会のみとし、オンライン教材の大幅な改訂が必要と考えている。その理由は厚労省が 2025 年 6 月 1 日から職場における熱中症対策を強化するため、改正労働安全衛生規則を施行したことである。労働環境下における暑熱対応の責任体制の整備、知識の普及、救急対応の推進に加え、責任者への厳罰化も示された。今後も温暖化が進むことは間違いないと考えると、労働者だけの問題ではなく、大学全体の問題となることは明らかである。講習会等で熱中症予防や対処について学ぶのはもちろんとして、正課外活動を含む大学の活動すべての安心安全を保つためのさらなる取り組みが必要であると考えらる。